

幼保連携型認定こども園 西神戸 YMCA 保育園 1月えんだより

1月聖句：「受けるよりは与える方が幸いである。」 <使徒言行録 20章 35節>

新年明けましておめでとうございます。夏の酷暑も忘れてしまう程の冬の寒さが続いています。今年も皆さんが、心身共に健康に過ごせますように、心よりお祈り申し上げます。皆さんは、年末年始をどのように過ごされましたか。子ども達からは、色んな贈りものを頂いたことや、美味しい食事をした事等の話を聞きました。私達は「受けること」と「与えること」を考えるならば、まずは「受けること、もらうこと」が嬉しいのではないかと思います。私も受ける方が嬉しい一人です。人から好意を受ける、美味しい物を頂く、時には豪華な景品が当たることも願います。又お正月に初詣に行って祈り願うことは、健康や平安な生活、物質的な豊かさや良い人間関係等、それらは間違いなく私達に幸いをもたらしますし否定をしません。

しかし、それよりももっと幸いなことがあると言うのです。それが「与えること」です。人に与えるなら、最後には自分に返ってくるから幸いだということではありません。与えること自体に幸いがあるというのです。与えることが何も無いという方もおられるかも知れません。しかし、ほんの少しの時間を割いて誰かのために祈ることは出来ますし、心を寄せて考えることもできると思います。

実は、物が豊かになればなるほど、私達はそれらに縛られ、失うことに恐れを覚え、欲望は果てしなく深まっていきます。イエスは、私達が自由になることを願っておられます。自分のことだけでなく、他の人のことに関心を持つこと、助けること、分かち合うこと、イエス様はそれを私達に求めておられます。自分中心の人生から、神様が求めておられることに従うという、神様中心の人生への転換なのです「受けるより与える方が幸いである。」これは、マザー・テレサの言葉の一つですが、そんな生き方の一つを分かち合い、今年もスタートしたいと思います。

1月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	いっしょにね	じっくりと／かさねる
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> 自分が大切にされていると感じ、神さまに愛され、守られていることに気づく。 自分でやってみようとする事が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで楽しんできたことに、新たな経験を重ね、遊びや経験を広げる。 冬の不思議やおもしろさに気付き、友だちと調べたり試したりする。
讚美歌	きょうも みんなに	やさしいめが こども改 114